

第 53 回日本臨床検査医学会総会
EBLM 講習会: 基本検査情報の活用

担当：日本臨床検査医学会 EBLM 委員会

昨年の学術集会において EBLM 委員会主催の講習会を行いましたところ、参加者から好評を得ましたので今年も同様の講習会を開催することになりました。この講習会では基本的検査についての EBM の実践を通じて検査情報の有効な活用ができるように例題(ケースシナリオ)を用いた演習形式で行う予定です。

講習会を受講希望の方は下記の内容をご参照頂き、氏名・所属・連絡先を明記のうえ、お申し込み下さい。

日時： 11 月 11 日午前 8 時～12 時 30 分 (4.5 時間)

場所： 総会会場内(弘前文化センター会議室)

講習会の概要：

臨床検査における検査およびその情報の有効な利用ができるように、検査情報の基本知識を修得し、臨床へ提供する情報の質の向上にむけた貢献とコンサルテーションへの対応を行うために必要な基礎能力を身につけることを目標とします。具体的には、日常臨床検査における結果が与える臨床情報としての意味(診断特性や検査前・後確率など)およびその中で考慮すべき点について理解するとともにそのエビデンスの取得の仕方と論文情報の批判的吟味、さらには検査値の変動要因を明らかにする統計的手法について学びます。

演習内容 (予定)

- I. 診断における検査情報の基本要素について (三宅一徳・西堀真弘)
 1. 感度・特異度、尤度比、ROC 曲線とその意義について
 2. 検査前確率の推定、検査後確率について
 3. 感度、特異度からみた有用な検査選択について
- II. 検査のエビデンスの取得について (桑島 実・石田 博)
 1. 検査における臨床研究の文献検索の基本
 2. 診断検査に関する臨床研究に潜むバイアス論文の批判的吟味
- III. 検査情報における統計の活用 (市原清志・片岡浩巳)
 1. 検査値変動における相互関係の分析について
 2. 診断に関わる要因の分析について

演習方法：

できるだけ具体的、実践的な演習を通じて理解を深めていただくことを目標として、模擬データや論文資料を用いながら学んでいただきますので、各自ノートパソコン(3.1、NT3.51 以外の

Windows OS およびマイクロソフト EXCEL が入っていること。)を準備のうえ、ご持参下さい。

受講対象者:

日本臨床検査医学会会員(医師・技師の別なく歓迎いたします。)

募集人数:

約 20 名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

参加費:

2,000 円(資料代を含む)

受講申し込み・問い合わせ:

受講希望者は氏名・所属・連絡先(電話番号・メールアドレス)を明記の上、下記までお申し込み下さい。

mids9@yamaguchi-u.ac.jp (担当:山口大学医学部附属病院医療情報部 上田・山脇)

電話:0836-22-2717

Fax:0836-22-2718

申し込み締め切り:

10 月 31 日(火)まで (定員になり次第、締め切ります。)